

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	クリーン作戦実施事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	環境政策・放射能対策課			
施策	2-1	豊かで美しい生活環境の創造		主管課長	染谷 忠美			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	自治会、各種団体、ポイ捨てを行う市民・来訪者	意図	環境美化意識の高い市民を増やし、ゴミの散乱がない状態の生活環境を実現する。
事業内容	自治会各種団体市民の協力を得ながら春・秋ごみゼロ運動及び江戸川クリーン大作戦を実施する。 また、ポイ捨て防止キャンペーンなどの啓発活動を展開する。環境美化意識の高揚を図り、ごみの散乱がない快適な生活環境を実現する。			
事業開始から現在までの状況変化	江戸川クリーン大作戦はごみゼロ運動の一環として行われ、河川の美化と啓発運動を進めるものである。以前と比べごみの量が減少している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	参加団体数	284	228	265	団体	
②	市民参加数	38,655	33,958	34,312	人		
③	清掃活動等開催数	2	2	2	回		
④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)							
事業費(b)(円)							
うち一般財源							
職員給与費(c)(円)							
人役・職員(人)							
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	VI 縮 小 （改善ではなく、他の事業との統合又は縮小すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	江戸川クリーン作戦のあり方・参加団体への依頼方法の検討	③取り組みの課題	ごみが少なくなっているにもかかわらず、参加団体が多い。分別を徹底する必要がある。
②今年度(H26)に実施した取り組み	参加団体に事情を説明し、参加者を絞っていただくとともに、一部の団体については隔年で参加いただくこととした。	④今後の改善計画	参加団体への依頼方法を工夫する。 国土交通省に2種類（可燃用、不燃用）の袋を作成するように要望する。 集積場所に可燃、不燃の表示をする。